

小学校 第5学年 給食時間の学習指導案

1 題材名 「雲仙市でとれるじゃがいもについて知ろう」

2 題材設定の理由

全国2位のじゃがいも生産量を誇る長崎県の中でも、雲仙市は有数なじゃがいもの生産地として知られている。地元のじゃがいもを教材として給食に活用し、地域の産物への興味・関心を高めることで、自分たちの食生活へも取り入れようとする姿勢を身に付けて欲しいと考え、本題材を設定した。

3 本時の目標

雲仙市の特産物のじゃがいもを通して、地域の産物への興味・関心をもち、自分の食生活へ取り入れようとする意欲をもつ。

4 食育の視点

地元の特産物について理解を深める。（食文化）

5 他教科との関連

社会科 「農業の盛んな地域をたずねて」

家庭科 「作っておいしく食べよう」

6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料
食前	○今日の給食に使われているじゃがいもは、雲仙市千々石町産であることを知る。 雲仙市でとれるじゃがいもについて知ろう	○今日の給食に使われているじゃがいもについて、写真を見せながら産地と品種を知らせる。	ニシユタカの写真
食事中	○じゃがいもの料理を味わって食べる。	○味わって食べるよう促す。	
食後	○長崎県の中でも島原半島でじゃがいもがたくさん収穫されることを知る。 ○雲仙市で主に作られているじゃがいもの品種を知る。 ○雲仙ブランドの「愛の小町」について知る。 ○地元のじゃがいもに興味をもち、今後も地元産のじゃがいもを食べようとする意欲をもつ。	○長崎県は全国2位の生産量で、県内産の約8割は島原半島で収穫されたものだとということを知らせる。 ○じゃがいもの品種を知らせる。 ニシユタカ・デジマ・アイユタカ・普賢丸 ○愛の小町は愛野町の赤土で作られていること、雲仙ブランドとして全国へ流通していることを知らせる。 ○地元のじゃがいもに興味をもたせ、自分たちの食生活に取り入れるよう促す。	デジマ アイユタカ 普賢丸の写真 愛の小町の収穫の写真 じゃがいも料理の写真

7 指導のつながり

- 掲示物や放送資料・たより等で、雲仙市の様々な農産物について紹介し、地域の産物への興味・関心を深めさせる。